

2015年10月吉日

各位

2015年度 TCC ホール・オブ・フェイムは 仲畑貴志氏に決定

東京コピーライターズクラブ(略称:TCC)は、本年度 TCC ホール・オブ・フェイムを仲畑貴志氏に決定しました。(選考理由は別紙のとおりです)

TCC ホール・オブ・フェイムは、その名の通りコピーの「名誉殿堂」。広告コピーのクオリティと、社会的評価を高めるうえで顕著な功績を残された先達を称え、その偉大な業績を後世に伝えるために2003年から制定された顕彰制度で、今年は13年目になります。TCCに在籍30年以上の会員および現職幹事会員の意見を参考とし、17名の選考委員がさまざまな観点から検討して、顕彰対象者を決定します。尚、ホール・オブ・フェイム顕彰式は2015年10月23日(金)に、TCC 賞授賞式と併せて執り行われる予定です。ぜひ、ご高覧・ご取材いただきたく、ご案内申し上げます。



<仲畑貴志氏近影>



<「好きだから、あげる。」丸井>

【お問合わせ先】

東京コピーライターズクラブ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-7-15

TEL : 03-5774-5400 / FAX : 03-3406-7433

Email : office @tcc.gr.jp URL : www.tcc.gr.jp

担当 : 事務局 佐藤・矢間

■2015 年度ホール・オブ・フェイム 仲畑貴志氏

<選考理由>

「好きだからあげる。」(丸井)「おしりだって洗ってほしい。」(TOTO)「愛とか、勇気とか、見えないものも乗せている。」(九州旅客鉄道)、「ココロも満タンに」(コスモ石油)、「角÷H20」(サントリー)など装飾性を捨てて、物事の真髄を言い放ち、忘れ難い言葉を送り出す。「考える技術 発想する方法」「勝つ広告のぜんぶ」など多数の著作でコピー、広告制作の啓蒙に努め、その比類ない技術は「仲畑マジック」とも称され、一流の日本語の使い手として「コピーライターの時代」を築き、支え続けている。

<プロフィール>

1947 年京都市生まれ。京都市洛陽工業高等学校機械科卒。広告制作会社サン・アドを経て独立。広告企画・制作、マーケティング戦略、新製品開発などを専門とする。主な仕事、サントリー・ソニー・TOTO・JR 九州・ペプシ・クレディセゾン・武田薬品工業・ワコール・明治製菓・味の素・オムロン・資生堂・東京ガス・日本経済新聞社・ブリヂストン・野村ホールディングスなど多くの広告キャンペーンを手掛け、カンヌ国際広告賞、ニューヨーク ADC 国部門賞、クリオ賞、日本宣伝賞山名賞、毎日広告デザイン賞、朝日広告賞、読売広告賞、フジサンケイ広告賞、ADC 賞、TCC 賞ほか国内外の広告賞を 300 以上受賞。主な著書、『考える技術発想する方法』(日本実業出版)、『勝つ広告のぜんぶ』『勝つコピーのぜんぶ』(宣伝会議)、『この骨董が、アナタです。』(講談社)など。また毎日新聞紙上では「仲畑流万能川柳」の選者も務めるなど、多岐にわたり活躍する。事業構想大学院大学教授、TCC 会長。

■TCC ホール・オブ・フェイム選考委員会

座長：朝倉勇 副座長：鈴木康之 選考委員：秋山晶・小野田隆雄・清水啓一郎・西村佳也・一倉宏・岩永嘉弘
多比羅孝・仲畑貴志・中村禎・秋山好朗・田口道明・小川英紀・芳谷兼昌・中山佐知子・吉田早苗

■2015 年度 HALL OF FAME 顕彰式のご案内

日時：2015 年 10 月 23 日(金) 17:30 開場 18:00 開式 ※TCC 賞授賞式と併せて執り行われます。

場所：ホテルニューオータニ 芙蓉の間 東京都千代田区紀尾井町 4-1 TEL：03-3265-1111

■東京コピーライターズクラブについて

東京コピーライターズクラブ(TCC)は、日本全国で活躍するコピーライターと CM プランナーの団体。1958 年に結成された「コピー十日会」を前身に、1962 年に発足し翌 1963 年から毎年秋に、「コピー年鑑」を発刊しています。現在、会員は約 900 名。毎年春に、前年度に実際に使用された広告の中から、優秀作品を選出し、その制作者を「TCC 賞」受賞者とし発表しています。

■これまでのホール・オブ・フェイム一覧(敬称略/※2007 年度は顕彰なし)

2003：土屋耕一・開高健・梶祐輔	2010：朝倉勇・赤井恒和
2004：上野壮夫・西尾忠久	2011：清水啓一郎・鈴木康之・坂本進
2005：片岡俊郎	2012：糸井重里
2006：黒須田伸次郎・竹岡美砂・向秀男	2013：西村佳也・眞木準
2008：新井静一郎・山口瞳	2014：小野田隆雄
2009：秋山晶・近藤朔・天野祐吉	